



令和 7 年 11 月 26 日
ななかいこども園

にじいろだより

NO. 11

今日は七会小学校で演劇鑑賞会がおこなわれました。4・5 歳児が招待されて、親子で宮沢賢治のお話「山猫とどんぐり」「セロ弾きゴーシュ」を楽しみました。ちょうど発表会の練習の時期です。本物を見ることは良い経験になったと思います。発表会の練習を通し、表現活動を楽しむだけでなく、力を合わせることで、やり遂げることなども味合わせることができるよう、保育をおこないます。そして、自己肯定感を養えるように頑張りを認めていっています。難しいことに挑戦して、失敗したとしても、その過程を認めていく。そして、子どもの可能性を信じて頑張っています。

【肯定感を育むために】

自己肯定感は生まれてから長い時間をかけて、親や関わる大人、育った環境や様々な経験などで育れます。とりわけ幼児期の親・周囲の大人との関わりが重要ですので、お子様を大切に思っている気持ちをしっかり伝えてあげましょう。

※自己肯定感とは「自分は大切な存在だ」「自分はかけがえのない存在だ」と、子どもが思えることです。

愛情を伝えるコツ

子どもは心が満たせされ、安心します。

- 声掛け（どうしたの、お話聞かせてね、上手にできたね、おいしいね。）
- ほほ笑み返し（目が合ったらわかるように笑い返しましょう）
- アイコンタクト（しっかり見つめ合い、アイコンタクトで答えましょう）
- スキンシップ（抱っこ、おんぶ、こちょこちょ、手遊び等）

子どもは叩いてはダメ？

たたかれると子どもたちは

- 相手が自分の思う通りにならない時に叩いていいのだと思ってしまいます。
- 体の大きい者は小さいものをたたいていいのだと思ってしまいます。
- 自分をたたいた人を、怖がったり、嫌いになったりします。
- 大人を怖がるようになります。



☆お知らせ☆

三陽造園さんから、パンジーとクリスマスツリーをいただきました。
ツリーは子ども達と飾り付けをしました。立派なツリーと飾り付けにクリスマス気分を盛り上がります。